

太平洋いか類漁場調査

(抄録)

今村 豊・油野 晃

2002年6月～11月に東経160度以西海域において、試験船東奥丸(140トン)でいか類の漁場調査等を実施した。調査は7、9、10、11月の計4回行った。

スルメイカ

2002年本県太平洋沖合に来遊したスルメイカは、白糠で昨年より15日早い5月29日、八戸では昨年より5日遅い6月24日に初漁がみられた。

白糠の漁期入りは例年より早く、順調に推移し、漁期終了までの累積漁獲量(ウオダス漁海況速報より)は約1,277トン(前年約1,071トン)の漁獲となり、前年を上回った。CPUE(1隻1日当たりの漁獲量)でみると、2002年は0.29トンで前年の0.28トンをやや上回った。

八戸の漁期入りは例年並みで、順調に推移し、漁期終了までの累積漁獲量(ウオダス漁海況速報より)は約5,345トン(前年約2,979トン)の漁獲となり、前年を大幅に上回った。CPUEでみると、2002年は0.71トンで前年の0.71トンと同じであった。